

令和3年6月29日 部長会議 会議録（要旨）

- 日 時 令和3年6月29日（火）午前9時00分～午前10時33分
- 会 場 市役所 応接会議室・庁議室
- 出席者 市長、教育長、参与、総務部長、企画政策部長、市民環境部長、健康福祉部長、次世代支援部長、経済部長、建設部長、議会事務局長、教育部長、総務課長、総合政策課長、財政課長、秘書広報課長、危機管理防災課長、市民協働課長、地域開発推進室長、協働推進係長、地域振興係長、開発推進係長、秘書係長

1. 開 会

2. 市長訓示

- 6月定例会も無事終了し、議員からは一般質問や委員会で様々な意見・要望をいただいた。新年度となり、職員の皆さんは与えられた役割をしっかりとこなしていて、私は皆さんの頑張りを評価している。なかなか外には見えづらいところもあるが、自信をもって、これからも業務にあたってほしい。
- 千曲市を変えると言って、変わっていないではないかと議員から言われるが、少しずつ変化の兆しが見えていると私は思っている。
- また、64歳以下のワクチン接種については、国や県の動向を見極めながら千曲市でできるベストな接種に向けて取り組んでいく。庁内一丸となり進めて行きましょう。

3. 会議事項

（1）令和3年第3回市議会（6月）定例会委員会における課題と今後の対応【各部】

◆説 明

（各部長から委員会における質問、答弁要旨、今後の課題、具体的対応策を報告）

◆協議結果

○情報共有。

◆その他主な意見・質疑等

○議会の委員会において、傍聴の議員が委員会の委員と同様に質問されることは、違和感を感じることから、その旨を委員長にお伝え願いたい。

【回答】承知した。

（2）行政手続きの押印見直し検討結果について【総務部】

◆説 明【資料1参照】

○〈対象手続き総数〉

各課に洗い出しを依頼し、まとまったので報告する。対象手続き総数は2,166、内、廃止済が46となっている。廃止済については、要領や内規または慣例として押印を求めていたものであり、既に各課で要領等の見直しを行い押印の廃止を行ったもの。廃止の方向で検討するもの

が1,323、内、条例 25、規則 418、規程 108、要綱 460、内規等 130、根拠なし 161（慣例等）、その他 21（廃止の方向だが、国県と歩調を合わせて行うべきもの）、廃止不可 797（全体の36.8%）。

○〈検討作業で明らかになった課題〉

各課共通の手続き（補助金の交付、会計手続き等）について、市として統一の対応が必要であることから、市から市民等に発出する文書のうち、「交付決定書」「許可書」「認定書」「証明書」等、市民等にとって、押印（公印）が文書の真正性を担保すると考えられるものについては、当面押印を継続としたい。行政手続とは別だが、「感謝状」「賞状」については押印する。

市民等に提出を求める文書のうち、「委任状」「同意書」「誓約書」「承諾書」等、本人や委任者の意思や行為の確認を強く求めるものについては、当面押印を継続としたい。また、「請求書」の押印も継続する。

○〈根拠規定別作業手順〉

廃止の方向で検討となった手続き（様式）について、その手続き（様式）を定めている例規の種類により、押印廃止までの作業が異なることから、「条例」については、関係条例として一括整理（束ね法案のような形で）し、9月議会へ上程（総務課対応）したい。「規則」「規程」「要綱」については、様式の押印を一括廃止する規則（規程・要綱）を制定（総務課対応）したい。今回漏れてしまったものも追加して廃止していく。「内規等」「根拠なし」については、所管部長の決裁のうえ、改正し、押印廃止（各課対応）をお願いしたい。「その他」については、国・県の動向等に合わせて改正時期を検討していく。

◆協議結果

○了承。

4. 各部課長からの報告事項等（主なもの）

【地域要望の実施状況について】【資料2参照】

【市民協働課長】

○5月に区・自治会への地区説明会（「地域要望書」「地域づくり計画」「コミュニティ補助金」）を実施した。地域要望書については、平成30年度からハード事業とソフト事業に分けている。見直しを依頼し、総計は減少している。地域要望の減少等については、議員からも問い合わせを受けていることから情報共有をお願いしたい。

【地域振興係長】

○地域要望の件数は、現在の制度である「地域要望」に移行する前（平成29年度以前）の「地域づくり計画」では、継続して実施するソフト事業・補助金事業等も件数に入っていたことや実施が難しい事業もあり、積み残された要望が相当数あった。平成30年度以降は、地域でその必要性を良く検討するとともに担当課と協議を行ったことから、総数についてはピーク時より減少し、令和2年度は716件となっている。

○提出された要望の内、市が実施主体となる要望の実施率は、例年20%前後で推移していたが、令和元年度は約17%、令和2年度は14%の実施率になっている。

○実施事業の事業費は、特に要望の多い建設課、農林課、生活安全課、危機管理防災課の4課に聞き取り調査を行い集計したものであるため、市全体の実際の額とは一致しないがご了承願

たい。事業費の増減については、事業の規模により一概に判断はできないが、令和元年度は東日本台風災害復旧費、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策費等に予算が重点配分されたことから、事業費は減少している。

【企画政策部長】

○地域要望の実施状況については、要望件数や実施率、事業費等が減少傾向にあることや、事業を実施する担当課でしっかりヒアリングを行う中で、難しい案件については要望から落としていただく等、件数が減っているというよりも要望内容を精査したということの情報共有をお願いしたい。

また、議員からも地域要望は最優先で実施すべき事業ではないかとの指摘もあったことから、台風災害から概ね3年となり、復旧事業も一段落してきた状況を踏まえ、今後は財政状況にもよるが、事業担当課においては、この状況を把握していただき、事業を進めてほしい。

【総務部長】

○市長と語ろう「おでかけシェアトーク」について、7月市報と併せ全戸配布となる。8月からそれぞれのテーマに沿って実施されるが、担当課と協議しながら進めて行くこととなるため、ご承知願いたい。

○7月6日に臨時議会を予定しているが、副市長の選任について、議会の同意を得られたら、翌7日の午前9時から副市長就任式を挙げるので出席願いたい。

○議員への各種投げ込みについては、必ず理事者に報告してから行うこと。

【市民環境部長】

【個人番号カード臨時交付窓口の開設状況について】【資料3参照】

(資料により情報共有)

【健康福祉部長】

○6月補正で認めてもらったが、国の新たな給付事業(新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援事業)については、7月より福祉課が窓口となり受付を行う。

○これから64歳以下の方へのワクチン接種を進めることとなるが、7月1日付で職員が健康推進課へ異動となる。各部においては忙しい状況の中、職員の異動について理解いただき感謝する。64歳以下の方へのワクチン接種については、早急に進めてまいりたい。

【経済部長】

○クーポン券については、6月30日までとなっていることから、早めに使用願いたい。

○シェアサイクルの社会実験については、7月1日より実施となる。

○ちくま割については、宿泊業者からは好評をいただいている。

○あんずの出荷がピークを迎える。プレミアムハーコット「杏月」については、来週、東京でトップセールスを行う。

【建設部長】

○千曲市総合運動公園基本構想策定について、第1回の協議会を7月13日に開催する。委員については、公募3名を含め22名となっている。その前段階として、庁内関係部署による幹事

会を構成しており、調整役のほか原案の検討や作成等を担当していただくこととなるが、よろしくお願ひしたい。建設部は都市計画課が所管課・調整役として策定にあたるが、運動の面ではスポーツ振興課、公園（白鳥園）の面では生活安全課が重要な部分を担っていただくこととなる。他の部署も関連することもあることから協力をお願ひしたい。

【教育部長】

○東京オリンピックが7月23日に開会式の予定となっていることから、小学校の終業式については7月21日を予定している。行事については、すべての学校でプール開きが行われ、運動会についても上山田小学校を除き実施済みである。修学旅行については、今日から上山田小学校が県内の木曾・駒ヶ根方面、五加小学校が黒部ダムに行くこととなっている。従来は東京方面が主流であったが、今年は他の小学校をみても、富山県、静岡県、山梨県、新潟県、県内では諏訪方面となっている。中学校については9月から10月に奈良、京都を予定している。いずれにしても、コロナの状況を踏まえ各学校で工夫をしている状況。

【教育長】

○タブレットの活用状況について、各学校でタブレットを活用しながら授業を行っている。現在は無理をせずに子ども達や先生がタブレットに慣れていく段階であるが、子ども達の方が慣れるのが早い。先生方、特に年配の先生はまだ遅いという状況。各教科の中で工夫をしながらタブレットを活用している。これから夏休みになるが、タブレットを持ち帰ったり、家のパソコンを使いクラウドブックにアクセスする、ズームを経験する等、夏休みにおけるタブレット等の活用についても、各学校で計画をしている状況。

【市長】

○本日の部長会議も多岐にわたるものが多かったが、共通して言えることは市民の皆様や議員各位に丁寧な説明を行い、合意をいただくよう心掛けて業務を進めてほしい。また、庁内でも横の連携をしっかりと行い情報共有に努めること。

5. 閉 会